

媒体名	サンケイリビング高槻・茨木
掲載日	2005年9月24日(土)

くらし●Enjoy

観葉植物、レトロな照明やソファなど、インテリアもおしゃれ。「ミセスの来店も多いですよ」(コミックバスターカシュカシュ北堀江店)



フード、ドリンクに多彩なメニュー

「カフェ、といえば、食べ物も大切?! 各社、メニュー構成にも力が入っています。「新メニューは役員が試食。カレー、チャーハン、カルピ丼、うな丼など、多彩に用意しています」と、ランシステム。またアクロスは、「野田阪神店では、こだわりのエスプレッソを提供。8月からは、仲吉野店(徳島県)で焼きたてパンのサービスを始めました。人気が出れば、他店にも広がるかも」と話します。

例えば、コミックバスターカシュカシュ北堀江店では、入場料1時間399円でフリードリンク(延長料は15分ごとに85円)。別料金で、ハニートースト(150円)やメキシカンピラフ(420円・写真)などを用意。1時間30分滞在して、カフェラテ、フローズンドリンクなどを飲んでも、1000円ちょっと! ミセスも気軽にゆったり楽しめそうですね。



Newsウォッチ WIDE

[複合カフェ]

マンガだけじゃない
ミセスも使える

ファミリールーム、レディースデーも「若者向けの空間」という印象が強かった「マンガ喫茶」ところが最近「複合カフェ」と呼ばれ、マンガやゲーム、インターネット以外に、雑誌、DVD、さらに卓球、ダーツが楽しめる、内装にもこだわった店が登場しています。

北口店など、全国89店舗にファミリールームを設置。子供連れの家族に人気です。「自遊空間」を展開する、業界最大のランシステム。子供がテレビゲームをする横で父親がパソコンを楽しむなど、くつろいで過ごす家族が多いのだそう。そんな「わが家のリビング」状態を、「手頃な料金で、お出かけ感」が満喫できるこ

とがウケているのは「(同社)と分析します。一方、「コミックバスター」を展開しているアクロスでは、「最近、女性をターゲットにした店づくりを意識しています。女性限定のレディースデーやレディーススペースを設ける店舗もあるほか、「昨年オープンした北堀江店は、ファッション雑誌から料理

異業種参入でサービス広がる?

本、絵本、洋書まで揃えており、女性客が4割以上。また、高級感のあるインテリアを意識した上、新庄店も人気とか。ちよつとのぞいてみたくなりますね。

日本複合カフェ協会によると、加盟店は8月末現在1129店にのぼり、店舗数は年々増加中。異業種からの参入も目立ちます。紳士服のアオキインターナショナルでは、アジアリゾート風の複合カフェ「快活CLUB」を全国56カ所で開催したの

は、昨年。もともとは紳士服の遊休店舗を利用でき、客層も紳士服の購入層と同じであったことから参入しました(同社)。10月からは、カラオケ店などを運営する、同グループのヴァリックが同事業を展開することが決定しており、早くも8月には、堺市内にカラオケ店と複合カフェが併設された店舗が登場しています。

また、レンタルビデオの「TSUTAYA」でおなじみのカルチュア・コンビニエンス・クラブでも、今年4月、複合カフェ「ゆう遊空間」を展開するメディアクリエイト(静岡県)と業務提携しています。こうした動きについて、「まだ複合カフェを利用したことのない人も多く、マイナーな存在。新規参入は、認知度が高まるので大歓迎です」と、先行組のランシステム。異業種のニューウェーブに加え、「客側から新サービスを提案されることもあり、今後はますますサービスが多様化しそう」と、日本複合カフェ協会では予想します。